

家庭系ごみの一部有料化・戸別収集制度附帯決議事項検証 評価シート

【評価について】◎…十分に組み込んでいてかつ効果が出ている

○…取り組んでいるが改善の余地がある

△…取り組みが不十分

No.	内容	市	家庭系ごみ専門部会
1	戸別収集における各家庭の集積場所など個別の対応も含め、周知を徹底すること。 《取り組み》 ・有料化導入前に「排出場所事前調査」を実施(平成31年1月23日～令和元年6月12日) ・「海老名市資源とごみの分け方・出し方」「有料化ハンドブック」全戸配布(令和元年8月26日～令和元年9月10日)	 →全世帯に排出場所の案内をしており、ごみの出し方の冊子も配布している。	
2	家庭系ごみだけでなく、事業系ごみについても、減量化対策を強化すること。 《取り組み》 ・海老名市事業系ごみ減量化基本方針の策定(令和元年5月) ・排出事業者への訪問指導 ・家庭用生ごみ処理機の導入支援(令和4年8月1日～) ・事業系一般廃棄物搬入手数料の見直し(令和5年度) ・優良取組事例認定事業(予定)	 →手数料見直しだけでなく、訪問指導を継続する等、有料化前に比べて強化している。	
3	同時期に実施予定の消費税増税による負担増に対して、家庭系ごみ指定収集袋の無料配布など様々な手法を検討し、対策を講じること。 《取り組み》 ・指定収集袋のサンプル袋の配布(令和元年8月) ・減免対象世帯制度(令和元年～)	 →サンプル袋を配布することで、購入間違いを防ぐことができた。	
4	導入後も適宜効果を検証し施策の見直しを行うこと。 《取り組み》 ・広報えびなで年に一度「ごみ量」と「収支」を報告(令和2年12月号～) ・家庭系ごみ一部有料化・戸別収集実施後アンケート調査(令和4年9月)	 →見直しに向け、取り組んでいる。	

No.	内容	市	家庭系ごみ専門部会
5	不法投棄対策の強化を行うこと。 ≪取り組み≫ ・集積所の一斉調査（令和2年度～） 令和2年度：80 か所（2.2%） 令和3年度：30 か所（0.8%） 令和4年度：68 か所（1.8%） 令和5年度：40 か所（1.0%） ・集積所のパトロール ・市民の集積所維持管理に関する内容の規則改正（令和4年4月1日施行）	 →一斉調査だけでなく、明文化することで強化することができた。	
6	外国人居住者等への丁寧な対応を行うこと。 ≪取り組み≫ ・市内モスクへ出向き説明会を実施（有料化導入前） ・外国語版「海老名市資源とごみの分け・出し方」の作成（9カ国語）（令和元年～） ・インターネットごみ検索サービス外国語版「ごみサク」（3カ国語）（令和元年～） ・外国語版啓発看板の配布（随時）	 →分別ガイドや集積所啓発看板で外国語対応している。	
7	集積所が設置されていない小規模な集合住宅への集積所の設置支援と指導の徹底を行うこと。 ≪取り組み≫ ・集合住宅維持管理事業補助金（令和元年7月1日～令和2年3月31日） ・集積所啓発看板、「資源とごみの分け方・出し方」の配布（随時）	 →導入当初に補助金制度を設けたり（支援）、随時看板（指導）をお渡ししている。	
8	大規模集合住宅に対して、ごみ減量化を更に推進した場合の支援など対応を検討すること。 ≪取り組み≫ ・集合住宅維持管理事業補助金（令和元年7月1日～令和2年3月31日） ・住みよいまちづくり条例でディスプレイ等設置を義務付け	 →減量化する仕組みづくりを構築した。	

No.	内容	市	家庭系ごみ専門部会
9	高齢者及び障害者の雇用等に関しては、適性に応じた形で進めること。 《取り組み》 【高齢者雇用（シルバー人材センター）】 ・燃やせるごみ戸別収集業務委託（令和元年～） ・収集曜日カレンダー、戸別収集ステッカーの配布委託（令和3年2月～同年3月） 【障がい者雇用】 ・障がい者手帳を所持している収集員の雇用（令和5年度） ・収集員の就労チャレンジ（平成30年8月～10月）	 →高齢者から障がい者の方まで幅広く業務を依頼している。	
10	民間業者との連携をする際は、市内事業者に対して十分な配慮を行うこと。 《取り組み》 ・海老名商工会議所の活用（令和元年～） ・指定収集袋の取扱店舗（令和元年～） ・資源協同組合の活用（令和元年～）	 →連携できるものから連携している。	
11	実施当初において示される予算規模の中での実施とし、今後は歳出の削減を行うこと。 ・歳出と歳入の比較 ・歳出の内訳 ※指定収集袋の枚数を減らして発注しているものの物価等の高騰により金額が上がってしまっている。	 →物価高騰により歳出が増額しているが、減額に努めている。	
12	座間市及び綾瀬市に対して更なるごみの減量化を求めるとともに、有料化の導入を促すこと。 《取り組み》 ・海老名市、座間市、綾瀬市の三市の協議会で報告	 →報告はしているが、各市の政策判断になる。	

1 戸別収集における各家庭の集積場所など個別の対応も含め、周知を徹底すること。

(1) 排出場所事前調査を実施(平成31年1月23日～令和元年6月12日)

調査対象	海老名市内全域の戸建て住宅（約 27,500 戸）
調査内容	各住宅敷地内のどの場所に排出するのが良いかを事前調査し、その結果を住民へ通知した。
調査方法	現業職員が1軒ずつ戸建ての家の外観を確認し、接道状況に応じたチラシをポスティングする。
効果	直接ポスティングすることで、ごみの一部有料化・戸別収集実施の周知につながった。

【投函した通知】

1

戸建住宅にお住まいの皆様へ

海老名市 環境課

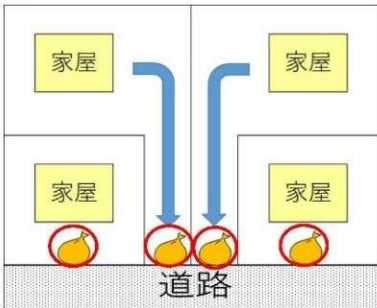
「燃やせるごみ」を出す場所について(お願い)

日頃より、市の清掃業務にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、市では**9月30日(月)**から「燃やせるごみ」の戸別収集を実施いたします。

これに伴い、「燃やせるごみ」、「紙おむつ(ペット用除く)」及び「落ち葉・雑草」を出す場所については、別紙説明チラシ1ページ目のうち、以下の図を参考にお出しください。よう、皆さまのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

1 道路に面している家・専用通路のある家





海老名市イメージキャラクター
えびねにゃ

※できるだけ道路に面した、置きやすい場所へお出しください。

※「資源物(缶、びん、紙・布など)」及び「燃やせないごみ」については、従来どおり、集積所へお出しください。

ごみを出す場所についてのご相談・お問い合わせにつきましては、以下までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

海老名市美化センター

電話：046(231)3366(直通) F A X：046(231)3367

メール：bikacenter@city.ebina.kanagawa.jp

環境課 資源循環係

電話：046(235)4922(直通) F A X：046(233)0346

(市庁舎5階) メール：kankyou@city.ebina.kanagawa.jp

※調査員は、緑の腕章及び海老名市の職員証を携帯しています。個人情報をお伺いしたり、金品を要求したりすることはありません。



海老名市
はみだい びみんけたいまち

【同封したチラシ(A3三つ折り)】

9月30日(月)より、

ごみの出し方

家庭系ごみの一部有料化及び戸別収集が始まります。



	有 料 (指定収集袋)	無 料 (透明・半透明のごみ袋)
戸別収集 	燃やせるごみ (オレンジ色の袋) 生ごみ 革製品 ゴム製品 綿の入ったもの ティッシュペーパー など 	紙おむつ (ペット用除く) 落ち葉・雑草
集積所収集 	燃やせないごみ (水色の袋) 資源化できないびん類 陶磁器類 ガラス類 鏡類 硬・磁石・磁石 など 	資源物 容器包装プラスチック 缶・びん類 紙・布類 その他プラスチック ペットボトル 蛍光灯・電球・乾電池 など

剪定枝の出し方

剪定枝は、新たに資源物として収集します。
戸別収集 (申し込み制) になります。

「落ち葉・雑草」は、
リサイクルできません。
「燃やせるごみ」として
透明・半透明のごみ袋に入れて、
戸別収集の場所にお出しください。

※ひもで縛ってください

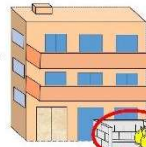


2

※参考【集合住宅にお住まいの方】 (別途調査します)

1 専用ごみ集積所がある集合住宅

収集場所の変更はありません。「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」は、指定収集袋に入れて出してください。



2 専用ごみ集積所がない集合住宅

所有者・管理会社などで、道路に面した出しやすい場所に「燃やせるごみ」、「落ち葉・雑草」、「紙おむつ」を出す場所を作ってください。
資源物は、今までと同じ集積所に出してください。



3

海老名市指定収集袋について

戸別収集
(集合住宅は
集積所収集)



従来通り
集積所収集

燃やせるごみの袋(オレンジ色)

大きさ	袋1枚あたりの価格	販売価格(10枚1組)
5リットル	10円	100円
10リットル	20円	200円
20リットル	40円	400円
40リットル	80円	800円

燃やせないごみの袋(水色)

大きさ	袋1枚あたりの価格	販売価格(5枚1組)
5リットル	10円	50円
10リットル	20円	100円
20リットル	40円	200円
40リットル	80円	400円

※燃やせるごみの袋は10枚1組、燃やせないごみの袋は5枚1組での販売となりますのでご注意ください。

※生活保護受給者世帯などには有料袋の減免措置があります。対象者には別途お知らせします。

9月上旬頃からスーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどで販売予定です。

戸別収集・有料化に関するQ&A

Q: 今後はどうやってお知らせが届きますか?

A: 2019年4月頃から説明会を開始します。また、9月頃に「分別ガイド」を全戸配布して詳しい内容をお知らせします。広報えびな、ホームページでも随時お知らせしていきます。

Q: カラス対策はどうすればいいですか?

A: まずはきちんと生ごみの水切りをしてから「燃やせるごみ」の指定収集袋に入れ、口をきつく縛ってください。さらに、ネットや不要になったカゴなどを上からかぶせると効果的です。

※9月30日より、ごみと資源の収集曜日が変更になります。

詳細が決まり次第、広報えびなやホームページでお知らせします。

【問い合わせ先】

海老名市環境課 TEL: 046 (235) 4922 FAX: 046 (233) 0346
美化センター TEL: 046 (231) 3366 FAX: 046 (231) 3367



4

戸別収集排出場所調査を行っています

別紙

海老名市では、環境負荷の低減、廃棄施設や施設周辺住民への負担軽減等のため、ごみの減量化を目的に2019年9月30日から、家庭系ごみの一部有料化及び戸別収集を実施いたします。

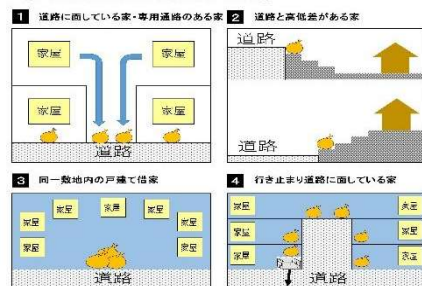
戸別収集とは、ご自宅の門前付近など、敷地内の道路に面した置きやすい場所へごみを出していただき、1棟ごとに収集するものです。

市では、円滑な戸別収集の実施に向け、1～9月にかけて、戸建て住宅にお住まいの方を対象に順次排出場所の調査を行っています。



9月30日以降は、以下の主なごみの排出場が4パターンのうち、同封した「燃やせるごみ」を出す場所について、にて選定した場所へ燃やせるごみを出してください。
住宅の構造条件など、4パターン以外に具体的な場所を提案する場合もごさいます。提案場所を変えたい場合などは環境課または美化センターへご連絡ください。
市民みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

【戸建て住宅にお住まいの方】



主なごみの排出場所

1

2 家庭系ごみだけでなく、事業系ごみについても、減量化対策を強化すること。

(1) 海老名市事業系ごみ減量化基本方針の策定(令和元年5月)

減量化策を家庭系と同時に環境審議会に諮問。部会を設立し、平成31年2月27日に答申。それを受け、基本方針を策定したパブコメを経て策定した。

【本編内容】※本編は、右記QRコードから確認できます。



- これまでの経緯
- 事業系ごみ減量化策について
- 事業系ごみの現状
- 事業系ごみ減量化策導入に当たっての留意事項
- 事業系ごみ処理の課題と減量の目的
- 事業系ごみ減量化策の実施時期について

(2) 排出事業者への訪問指導

適正排出等を促すため、事業所を訪問し、指導する。また、年間12トン以上又は1月1トン以上の事業系一般廃棄物を排出している事業者を「多量排出事業所」として減量化計画書の提出を依頼している。

訪問指導の状況

	多量排出事業所	訪問件数
令和2年度	92社	30社
令和3年度	87社	9社
令和4年度	92社	23社
令和5年度	85社	23社



(3) 家庭用生ごみ処理機の導入支援(令和4年8月1日～)

購入の補助はこれまでも行っていたが、補助台数を拡大した。また、新たに無償で貸出しも行っている。

【生ごみ処理機貸出】

対象者：市内事業者

機種：リサイクラー（パナソニック製）

費用：無償

貸与期間、台数：最大3ヶ月（年度内2回まで）、1事業者3台まで

【生ごみ処理機購入補助】

対象者：市内事業者で市税等を滞納していない事業者

補助金額：電動式 購入価格の3/4（上限5万円）、1事業所につき3台まで

非電動式 購入価格の3/4（上限2万5千円）、1事業所につき2台まで



(4)事業系一般廃棄物搬入手数料の見直し(令和5年度)

高座清掃施設組合への搬入手数料を段階的に値上げすることが決定した。(令和5年6月高座議会)

令和5年4月1日
250円/10kg



令和6年4月1日
300円/10kg



令和8年4月1日
350円/10kg

(5)優良取組事例認定事業(予定)

市内事業者において、事業所内の事業系ごみ適正排出及び減量化を促進するための取組について、優良取組事例として認定する。令和5年度に認定の基準を策定し、策定次第、認定していく。

3 同時期に実施予定の消費税増税による負担増に対しても、家庭系ごみ指定収集袋の無料配布などの様々な手法を検討し、対策を講じること。

(1) 指定収集袋のサンプル袋の配布(令和元年8月)

配布枚数	1人世帯	燃やせるごみ5リットル2袋(200円相当)
	2～3人世帯	燃やせるごみ10リットル2袋(400円相当)
	4人世帯以上	燃やせるごみ20リットル2袋(800円相当)
配布方法	世帯主に引き換えハガキを送付し、令和元年8月中に市が指定する日時・場所で配布する。	

【引き換えハガキのイメージ】

料金後納郵便 243-04 海老名市

〒243-0492 海老名市勝瀬175-1
経済環境部環境課
TEL: 046-235-4922 (直通)
8:30~17:15 (土・日・祝除く)

ここからゆっくりはがして中をご覧ください。万一、このハガキが通っている場合は、十分に乾かしてから開けてください。

有料ごみ袋(指定収集袋) サンプル品引き換えハガキ

海老名市では、今年9月30日(月)からの家庭系ごみ一部有料化、戸別収集の実施に伴い、有料ごみ袋のサンプル品を配布します。

○配布方法
指定の日時・場所において、引換券と有料ごみ袋を交換(指定日時・指定場所については右欄参照)

○配布枚数

世帯人員	配布枚数
1人世帯	5リットル袋10枚2セット
2～3人世帯	10リットル袋10枚2セット
4人世帯以上	20リットル袋10枚2セット

7月1日時点で海老名市に住民登録のある世帯を対象に、世帯主宛にハガキを送付しています。

○注意事項

- 配布するサンプル品は、9/30以降に使用できます。
- 引換券があれば、ご本人(世帯主)以外の引き換えも可能です。
- 引き換えの際は引換券を忘れずにご持参ください。券をお忘れになると、有料ごみ袋との引き換えはできません。
- 引換券を紛失された場合、再発行は行いません。
- 指定日時に指定場所での引き換えをお願いします。
- 円滑な配布作業実施のため、制度に関するご質問等は、引き換えの際はご遠慮いただき、後日環境課までお問い合わせください。

有料ごみ袋(指定収集袋) サンプル品引換券

引き換えの際は本券を忘れずにご持参ください。
引換券をお忘れになると、有料ごみ袋との引き換えはできません。

○引き換え枚数、指定日時・場所

世帯人員	人
引き換え枚数	燃やせるごみ リットル袋10枚2セット (円相当) ※1セットあたりサイズ: 約21cm×約18cm 約100g ※他のサイズの袋との交換は致しかねますので予めご了承ください。
指定日時	①令和元年8月 ②令和元年8月 2日間
指定場所	(住所)

○指定日時に引き換えができない場合、令和元年9月2日から同年12月27日までで別途定めた場所で引き換え可能です。詳細については、市ホームページをご確認くださいか、環境課までお問い合わせください。

整理番号 N o .

【サンプル袋配布の実施状況】



(2) 指定収集袋の減免対象世帯

【対象世帯】

1	生活保護受給者世帯
2	児童扶養手当受給世帯
3	特別児童扶養手当受給世帯
4	ひとり親家庭等医療費助成世帯
5	障がい者手帳所持（身体1級・2級、精神1級）かつ非課税世帯
6	療育手帳所持（A1又はA2）かつ非課税世帯

【配布数・配布方法】

- ・世帯人数1人あたり100袋110枚に相当する量（1年間分）
- ・ゆうパックによる郵送、窓口配布等

【対象世帯への配布チラシ】

令和5年度分 指定収集袋減免のお知らせ

家庭系ごみの有料化において、次の表に該当する世帯は減免対象者に該当し、一定枚数の指定収集袋を受け取ることができます。

令和5年度分の指定収集袋につきましては、郵送により交付します。

今回交付する袋の種類と袋の枚数は、次のとおりです。

なお、年度途中に減免の対象から外れた場合、交付した指定収集袋を返還してもらうことがあります。

対象世帯	交付枚数（郵送でお送りする枚数）
① 生活保護受給世帯	1人当たり
② 児童扶養手当受給世帯	
③ 特別児童扶養手当受給世帯	
④ ひとり親家庭等医療費助成対象世帯	
⑤ 障がい者手帳所持（身体1・2級、精神1級） かつ市町村民税が非課税世帯	燃やせるごみ 10リットル80枚相当
⑥ 療育手帳所持（等級A）かつ市町村民税が非課税世帯	燃やせないごみ 10リットル5枚相当

※サイズ交換、燃やせないごみ袋の追加交付等、ご不明な点については下記までお問い合わせください。

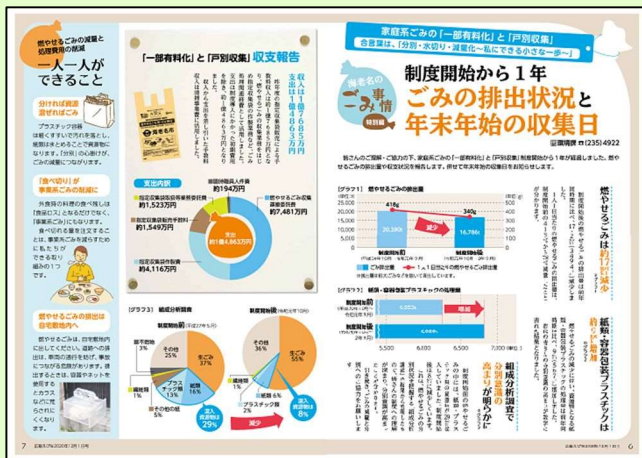
【お問合せ先】
海老名市 経済環境部環境政策課
電話 046-235-4923（直通）

4 導入後も適宜効果を検証し、施策の見直しを行うこと。

(1) 広報えびなで年に一度「ごみ量」と「収支」を報告

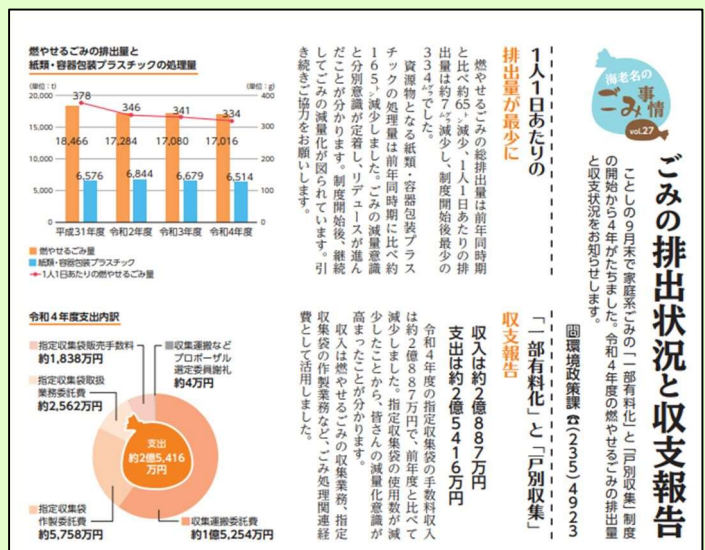
【令和2年12月1日号】

【令和3年12月1日号】



【令和4年12月1日号】

【令和5年12月1日号】



他にも以下の内容などを報告しています。

○燃やせるごみの組成分析調査結果と減量化のためにできること

(令和2年2月1日号)

○家庭でできる燃やせるごみの減量化生ごみ処理機の活用を

(令和3年7月1日号)

※「広報えびな」のバックナンバーは右記QRへ



(2) 家庭系ごみ一部有料化・戸別収集実施後アンケート調査

調査期間	令和4年9月1日～30日
目的	制度導入における減量効果や課題を確認し、今後の事業展開の基礎資料とするため。
公表	令和5年5月

※アンケート結果の詳細は、下記QRから確認できます。



5 不法投棄対策の強化を行うこと。

(1) 集積所の一斉調査(令和2年度から毎年度実施)

事前に集積所をピックアップし、その後現場確認をする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
集積所数	80	30	68	40

【調査の状況】



(2) 集積所のパトロール

集積所に排出された粗大ごみの回収を行ったり、不法投棄や管理が行き届いていない集積所に不定期にパトロールを行っている。

(3) 市民の集積所維持管理に関する義務の明文化(令和4年4月1日施行)

市内のごみ集積所において、清潔が保てないなどの維持管理が十分にできていないごみ集積所が存在しており、上記(1)(2)のようにその改善対応を行っている。

しかし、十分な改善がなされない集積所も存在し、市によるごみ収集に困難が生じている現状にある。

そこで、改善対応手続を海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する規則に明文化し、明確な根拠の下に対応を行うため、規則を一部改正及び適正な手順で指導するために作成した。

6 外国人居住者等への丁寧な対応を行うこと。

(1) 外国語版「海老名市資源とごみの分け方・出し方」の作成(9カ国語)

【対応言語】

- ・英語
- ・中国語
- ・ハンブル
- ・ベトナム
- ・スペイン
- ・ポルトガル
- ・タイ
- ・タガログ
- ・ラオス



窓口配布やホームページで周知しています。



←HPはこちら

(2) インターネットごみ検索サービス外国語版「ごみサク」(3カ国語)

【対応言語】

- ・英語
- ・中国語
- ・ハンブル



ごみサクQRはこちら→



(3) 外国語版啓発看板の配布(随時)

不法投棄禁止や曜日を確認等の注意看板を、窓口で配布している。



(4) その他の取り組み

有料化制度開始に伴い、通訳を入れて、主にインド国籍の方向けの説明会を開催した。また、市内モスクへ出向き説明会を開催した。



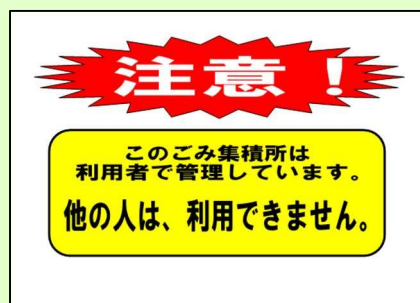
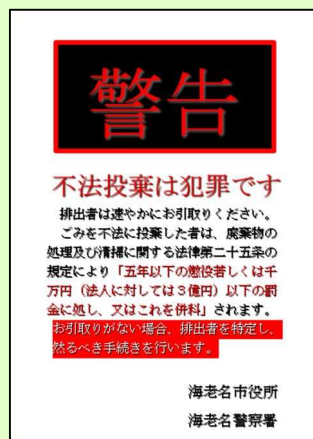
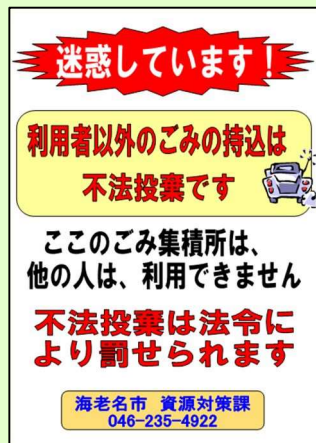
7 集積所が設置されていない小規模な集合住宅への集積所の設置支援と指導の徹底を行うこと。

(1) 集合住宅維持管理事業補助金(令和元年7月1日～令和2年3月31日)

対象事業	補助内容	補助額	補助実績
ごみ集積設備設置	- ごみ集積設備の設置 (例：ストッカー、折り畳み集積設備等) - 買い替え等による設備の変更	補助率75% (上限10万円)	303件 (15,344,700円)
ごみ集積所維持管理	- 監視カメラの購入、設置 - 周知啓発用看板の作成 - 周知啓発用チラシの作成		55件 (4,399,500円)

(2) 集積所啓発看板、「資源とごみの分け方・出し方」の配布(随時)

集合住宅の管理会社等の要望に応じて、不法投棄禁止看板や曜日看板等の啓発看板を環境政策課と資源対策課の窓口で配布している。また、「資源とごみの分け方・出し方」も要望に応じて、配布している。



8 大規模集合住宅に対して、ごみ減量化を更に推進した場合の支援など対応を検討すること。

(1) 集合住宅維持管理事業補助金(令和元年7月1日～令和2年3月31日)

対象事業	補助内容	補助額	補助実績
ごみ集積設備設置	- ごみ集積設備の設置 (例：ストッカー、折り畳み集積設備等) - 買い替え等による設備の変更	補助率75% (上限10万円)	303件 (15,344,700円)
ごみ集積所維持管理	- 監視カメラの購入、設置 - 周知啓発用看板の作成 - 周知啓発用チラシの作成		55件 (4,399,500円)

(2) ディスポーザー等設置で通常の集積所規模より小さくすることができる

海老名市住みよいまちづくり条例開発技術基準に該当する、集合住宅を開発する場合は、計画戸数によって、以下のとおりごみ集積所の設置規模を示している。

しかし、計画戸数50戸以上の中高層住宅で、大型生ごみ処理機又はディスポーザ排水処理システムを設置する場合は、0.2㎡/戸を0.17㎡/戸とすることができる。

計画戸数	ごみ集積所の規模
5戸以下	1.5㎡以上
6戸以上	2.0㎡以上
11戸以上	3.0㎡以上
16戸以上	4.0㎡以上
21戸以上	計画戸数×0.2㎡の面積以上

9 高齢者及び障害者の雇用等に関しては、適性に応じた形で進めること。

(1) 燃やせるごみ戸別収集業務委託(令和元年～)

海老名シルバー人材センター

(2) 収集曜日カレンダー、戸別収集ステッカーの配布委託(令和3年2月～同年3月)

海老名シルバー人材センター

令和3年3月30日現在収集曜日(ごみの出し方)に大きな変更はありません。
各ご家庭での廃棄物としてご対応ください。

◎資源とごみの収集曜日 東柏ヶ谷・柏ヶ谷・望地 令和3年3月発行

月	火	水	木	金	土
燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物
燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物	燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物 燃やせるごみ 燃やさないごみ 資源物

資源とごみの分け方や燃やせるごみの出し方に詳しくは、収集曜日のカレンダーをご覧ください。

カレンダー



ステッカー

(3) 障がい者手帳を所持している職員の雇用

- ・収集員として2名雇用

(4) 収集員の就労チャレンジ(平成30年8月～10月実施)

該当期間に4名就労チャレンジを実施した。今後も、機会がある場合は受け入れていく。

10 民間業者との連携をする際は、市内事業者に対して十分な配慮を行うこと。

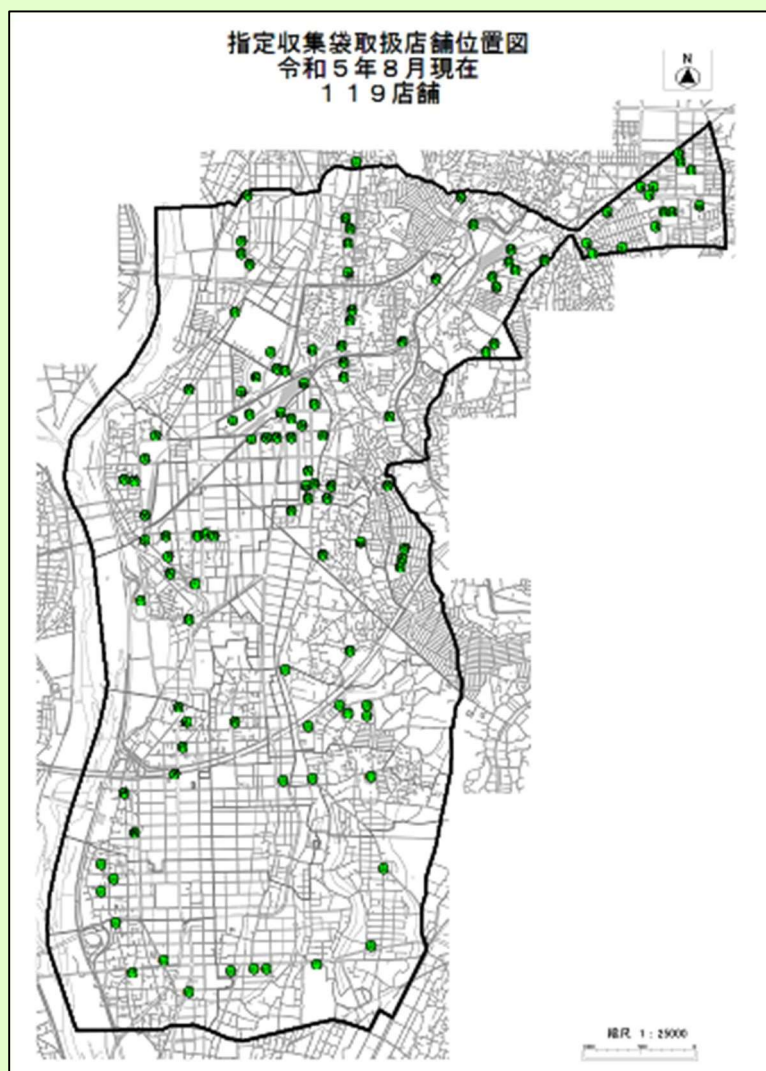
(1) 指定収集袋の取扱店舗

市民が手に入れやすい店舗での販売を目指し、取扱店舗を選定した。市民が手に入れやすい店舗を取扱店とするため、店舗への取扱の働きかけなども行った。

なお、市民の利便性から、市外店舗での販売も検討した。検討に当たっては、「市内商業振興」や「他市（特に大和市）の袋との混在」などの点から、市境にあるチェーン展開をしている店舗で、他市の袋を取り扱っていない店舗を抽出し、海老名商工会議所と共に取り扱いの働きかけを行った。

⇒ 119店舗中1店舗のみ市外事業者（令和5年8月時点）

【指定収集袋取扱店舗図】



(2)海老名商工会議所の活用

指定収集袋の取扱等の委託を海老名商工会議所に委託をしている。

【主な業務内容】

1	指定収集袋の保管業務
2	指定収集袋の店舗からの受注管理
3	販売手数料の収納業務
4	指定収集袋取扱店舗の管理

(2)資源協同組合の活用

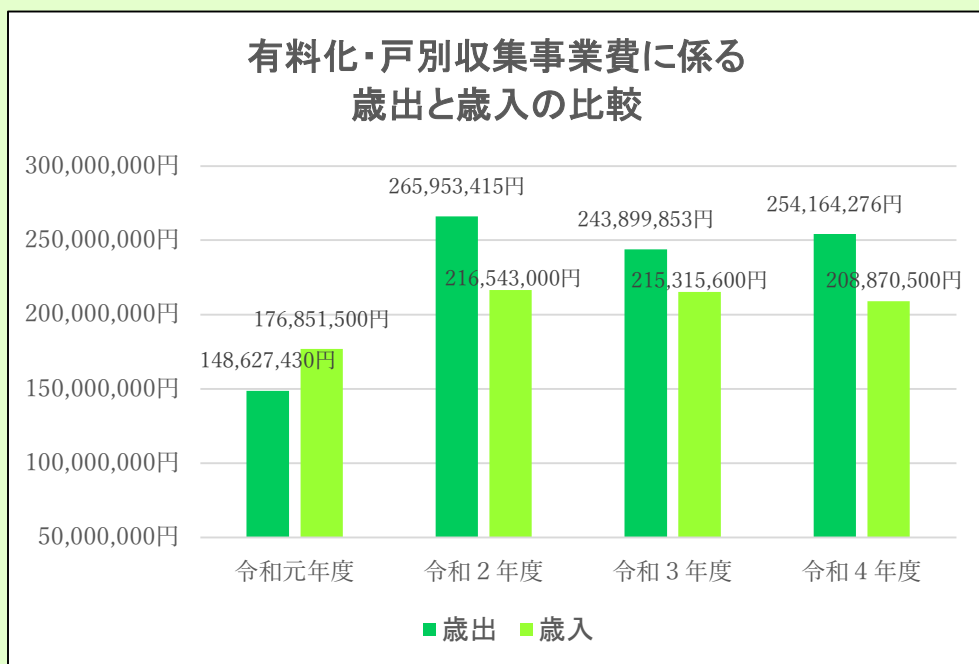
市内の燃やせるごみの戸別収集業務を委託している。

【会社名】

1	株式会社須藤商事（海老名市国分北 3-15-2）
2	旭総業株式会社（海老名市国分寺台 2-6-18）
3	有限会社富美商事（海老名市上河内 1-5）
4	有限会社千田商店（海老名市中野 3-20-16）
5	清水商事（海老名市泉 2-2-35）
6	有限会社アオキ自動車（海老名市河原口 2-22-26）

11 実施当初において示される予算規模の中での実施とし、今後は歳出の削減を行うこと。

(1) 歳出と歳入の比較

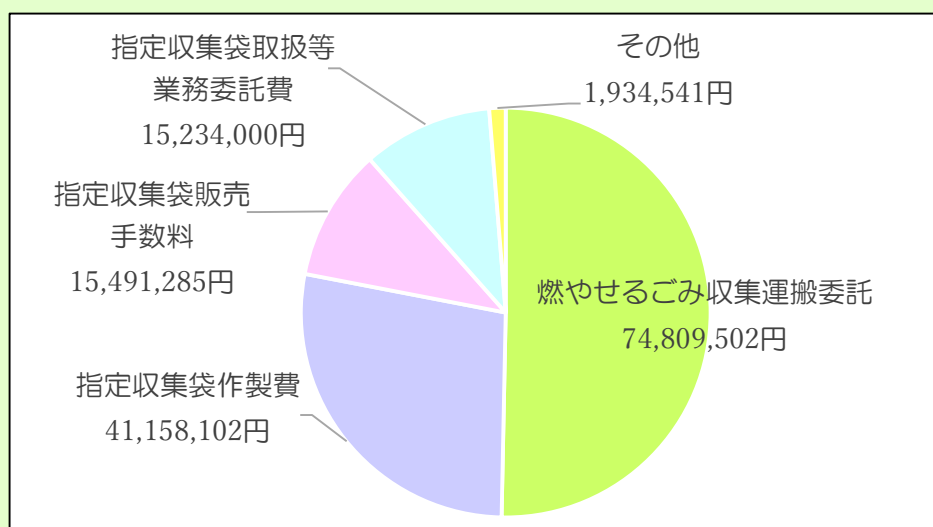


歳入	・家庭系ごみ手数料
歳出	・燃やせるごみ収集運搬委託費 ・指定収集袋作製費 ・指定収集袋販売手数料 ・指定収集袋取扱等業務委託費 ・その他（臨時職員人件費、分別啓発経費）

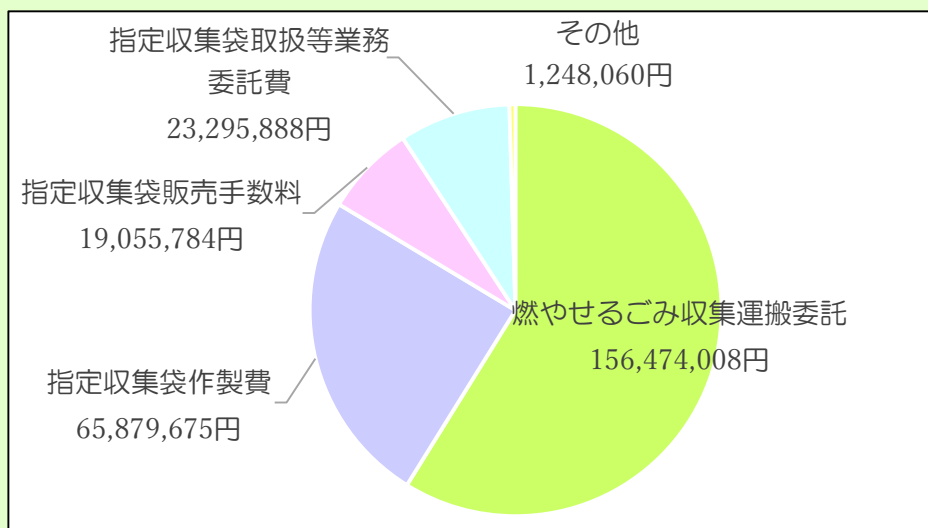
(2) 歳出の内訳

指定収集袋作製費等、物価高騰等により近年歳出が増額している。

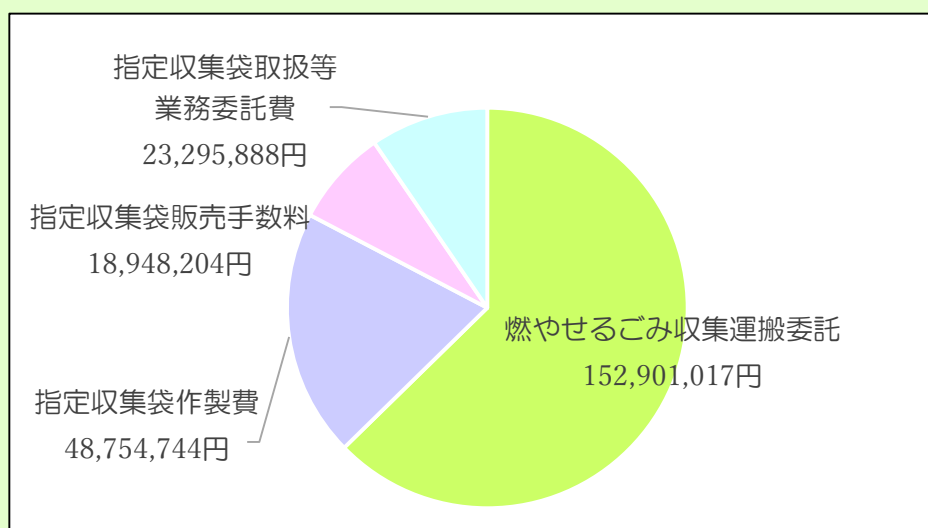
【令和元年度】



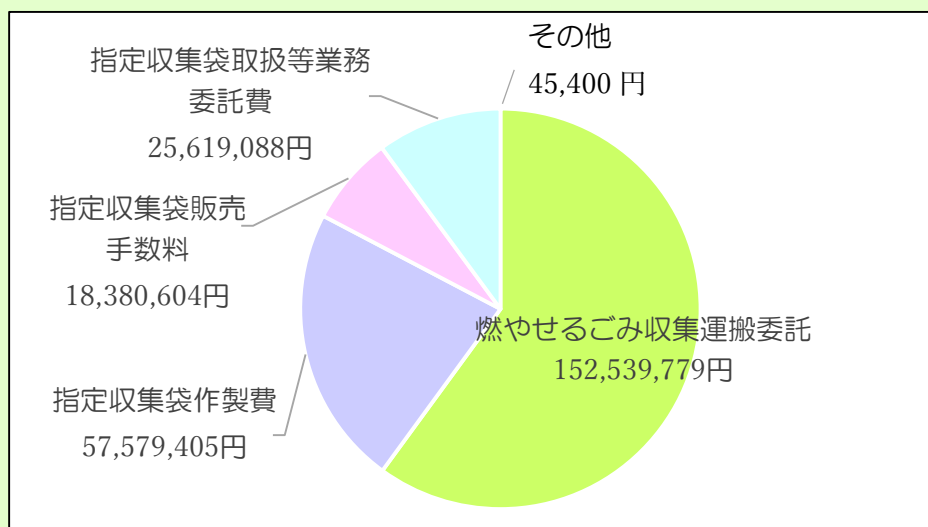
【令和2年度】



【令和3年度】



【令和4年度】



12 座間市及び綾瀬市に対して更なるごみの減量化を求めるとともに、有料化の導入を促すこと。

海老名市・座間市・綾瀬市・高座清掃施設組合の四者の協議会で報告

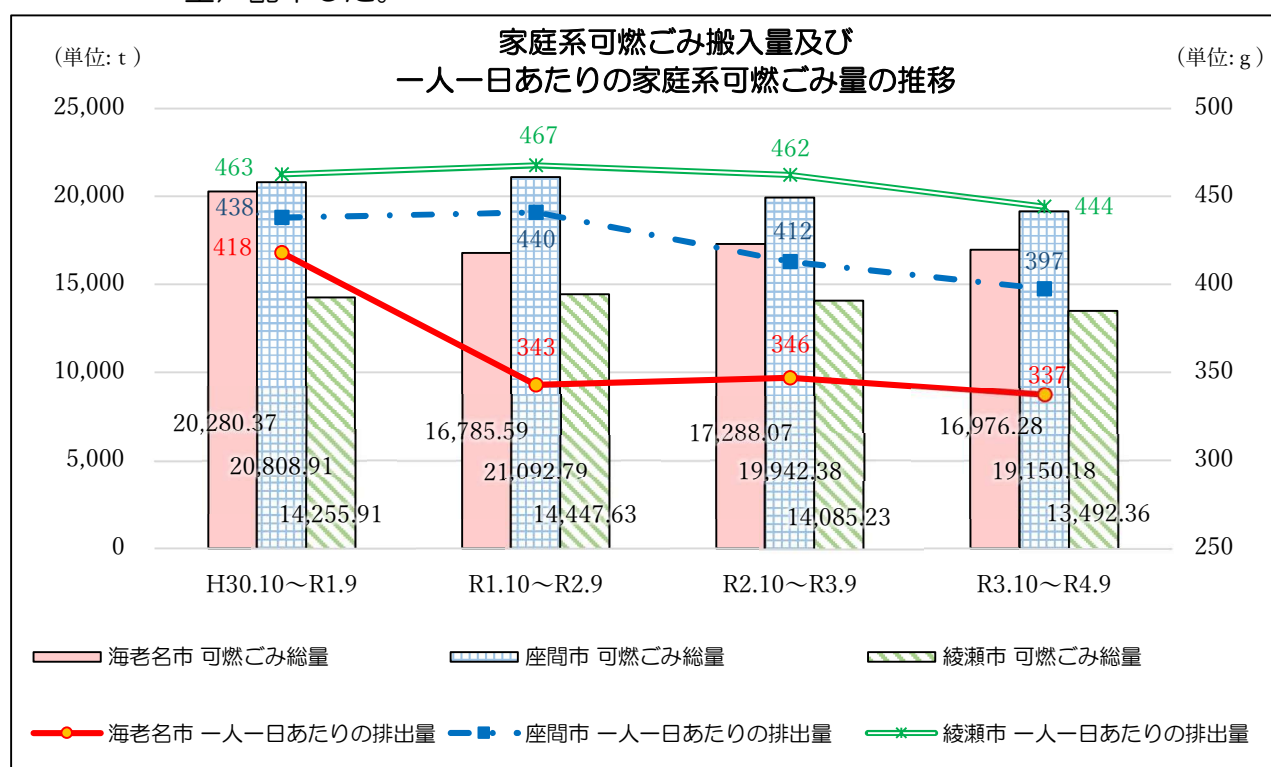
有料化導入前後のごみ量とごみ組成分析の結果を報告した。報告後、各市で燃やせるごみの減量化に取り組んだ。

【座間市】剪定枝の資源化徹底

座間市では、剪定枝の回収を徹底して行っている。

【綾瀬市】紙類の分別徹底

綾瀬市では、可燃ごみに混入するのを防ぐため、紙袋を無償で全戸配布した。



《第2回 家庭系ごみ専門部会》

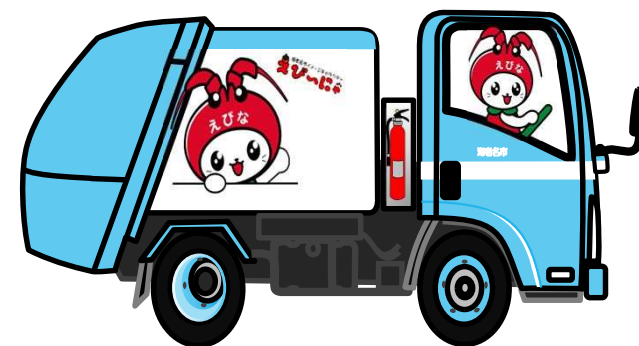
家庭系ごみの一部有料化・戸別収集 制度の検証について

令和6年4月23日（火）
市役所7階 703会議室

(1)附帯決議事項評価

(2)指定収集袋

(3)有料化品目



1 附帯決議事項の評価

◆附帯決議事項

	内容
1	戸別収集における各家庭の集積場所など個別の対応も含め、周知を徹底すること。
2	家庭系ごみだけでなく、事業系ごみについても、減量化対策を強化すること。
3	同時期に実施予定の消費税増税による負担増に対して、家庭系ごみ指定収集袋の無料配布など様々な手法を検討し、対策を講じること。
4	導入後も適宜効果を検証し施策の見直しを行うこと。
5	不法投棄対策の強化を行うこと。
6	外国人居住者等への丁寧な対応を行うこと。
7	集積所が設置されていない小規模な集合住宅への集積所の設置支援と指導の徹底を行うこと。

1 附帯決議事項の評価

◆附帯決議事項

	内容
8	大規模集合住宅に対して、ごみ減量化を更に推進した場合の支援など対応を検討すること。
9	高齢者及び障害者の雇用等に関しては、適性に応じた形で進めること。
10	民間業者との連携をする際は、市内事業者に対して十分な配慮を行うこと。
11	実施当初において示される予算規模の中での実施とし、今後は歳出の削減を行うこと。
12	座間市及び綾瀬市に対して更なるごみの減量化を求めるとともに、有料化の導入を促すこと。

※詳細は、別紙1～3でご説明させていただきます。

2 指定収集袋

(1)手数料

◆有料化目的

1	ごみの減量化
2	負担の公平性の確保（排出量に応じた負担）
3	ごみ処理施設・地元への負担軽減
4	環境負荷軽減
5	財政負担の削減
6	次世代への負担軽減

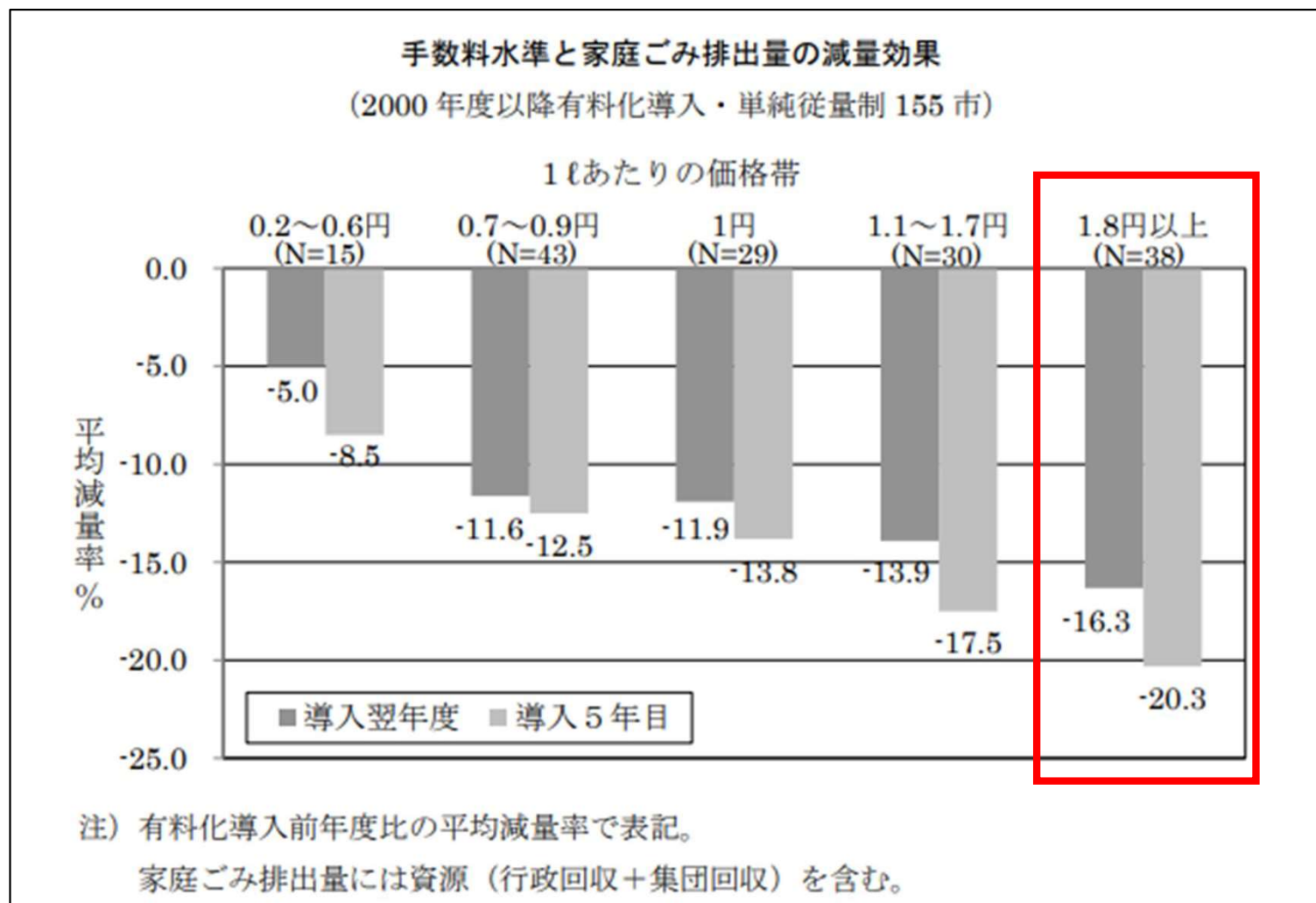
◆手数料の算出方法

ごみの減量効果が期待できる水準、市民の受容性、周辺市町村の料金水準を参考として算出

2 指定収集袋

【参考】ごみの減量効果が期待できる水準

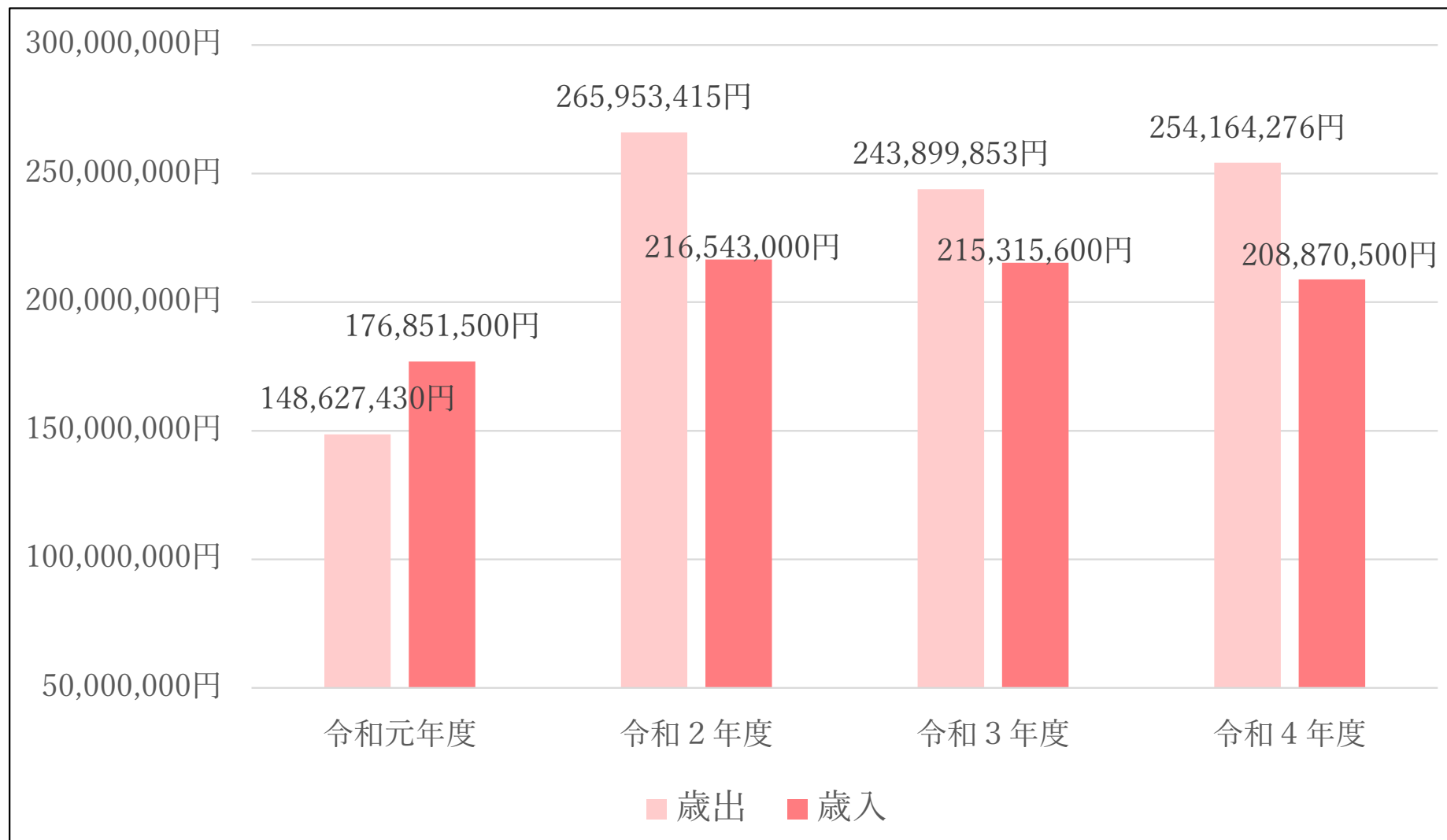
(出典：東洋大学山谷修作名誉教授 調査資料 (2022年9月))



2 指定収集袋

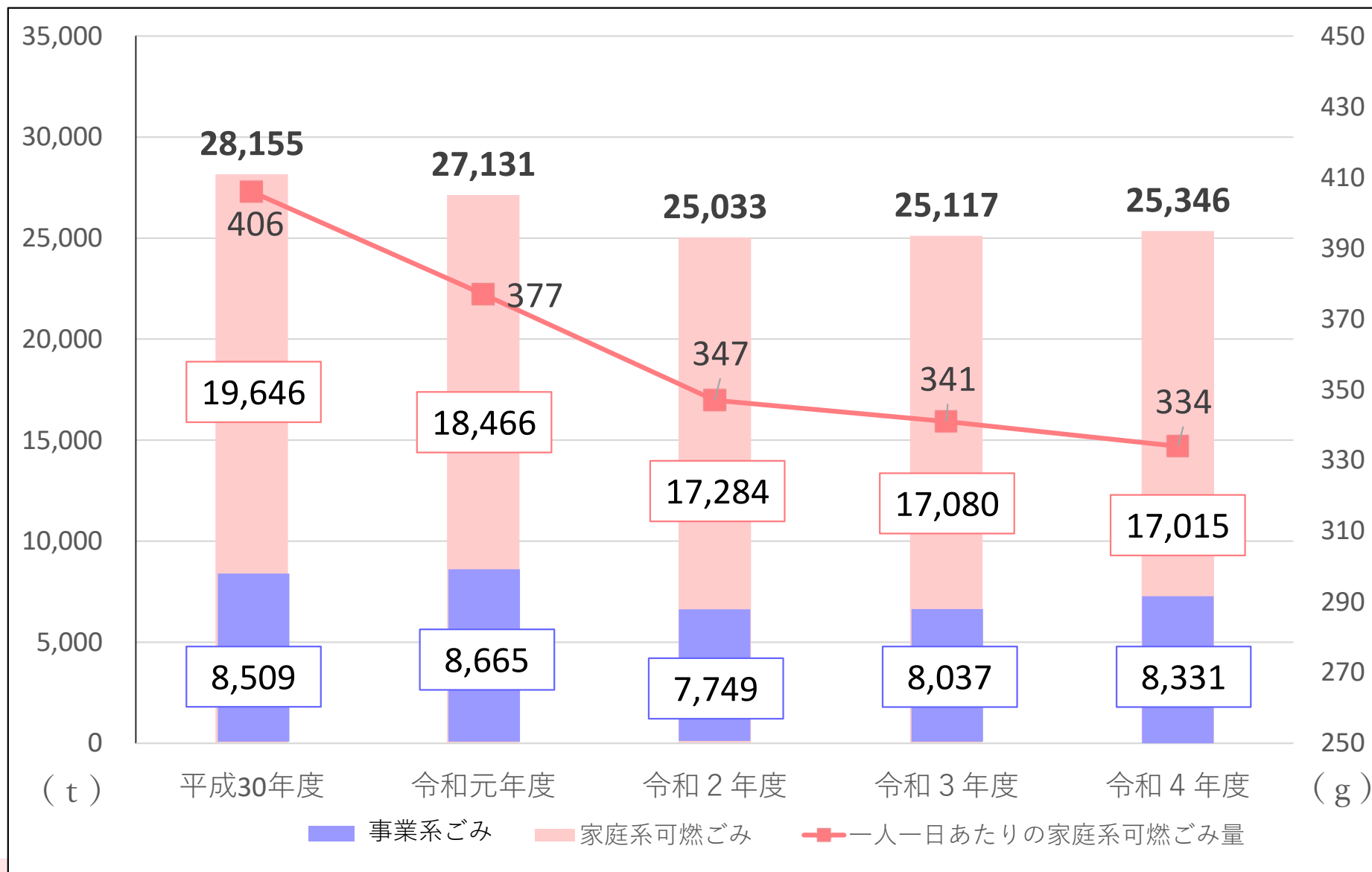
◆経費

《有料化・戸別収集事業費に係る歳出と歳入の比較》



2 指定収集袋

◆海老名市ごみの排出量



2 指定収集袋

◆一般廃棄物処理基本計画目標値

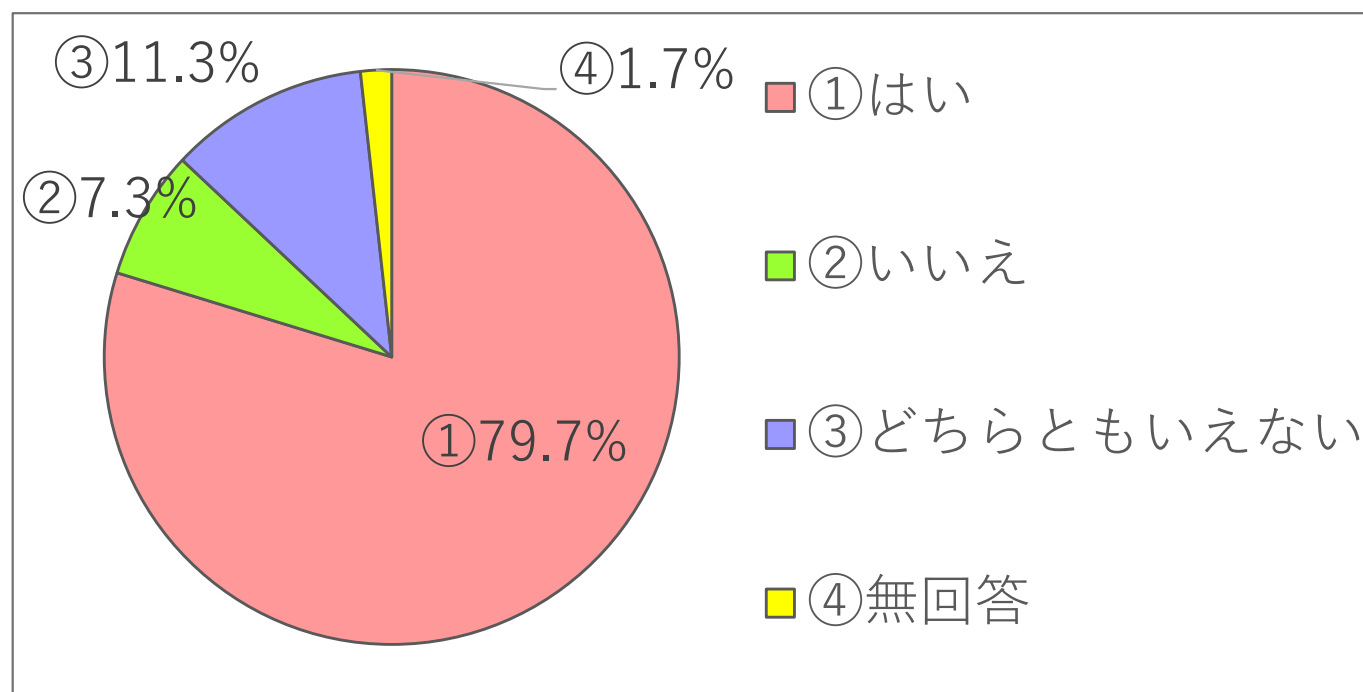
	内容	令和9年度目標	令和4年度実績
1	一人一日あたりの家庭系ごみ量	570 g / 人・日	550 g / 人・日
2	事業系ごみ量	5,145 t / 年	<u>8,331 t / 年</u>
3	焼却量	約24,000 t / 年	<u>26,399 t / 年</u>
4	一人一日あたりの家庭系可燃ごみ	340 g / 人・日	334 g / 人・日
5	リサイクル率	約40%	<u>約33.8%</u>

➡ 令和4年度時点で、一人一日あたりの家庭系可燃ごみ量は334 gである。
今後人口が増加すること踏まえて一人一日あたりの家庭系可燃ごみ量を現在の排出量を維持する必要がある。

2 指定収集袋

◆家庭系ごみ一部有料化・戸別収集導入後アンケート

[問]ごみの分別や出し方を有料化導入前より注意するようになりましたか。



➡ 制度を導入したことにより、ごみに対する意識変化があり、家庭系可燃ごみの減量につながった。

2 指定収集袋

◆組成分析結果

《有料化導入直後》

実施日	令和元年10月26日（土）
内 容	約105kg（集合約50kg、戸建約55kg）

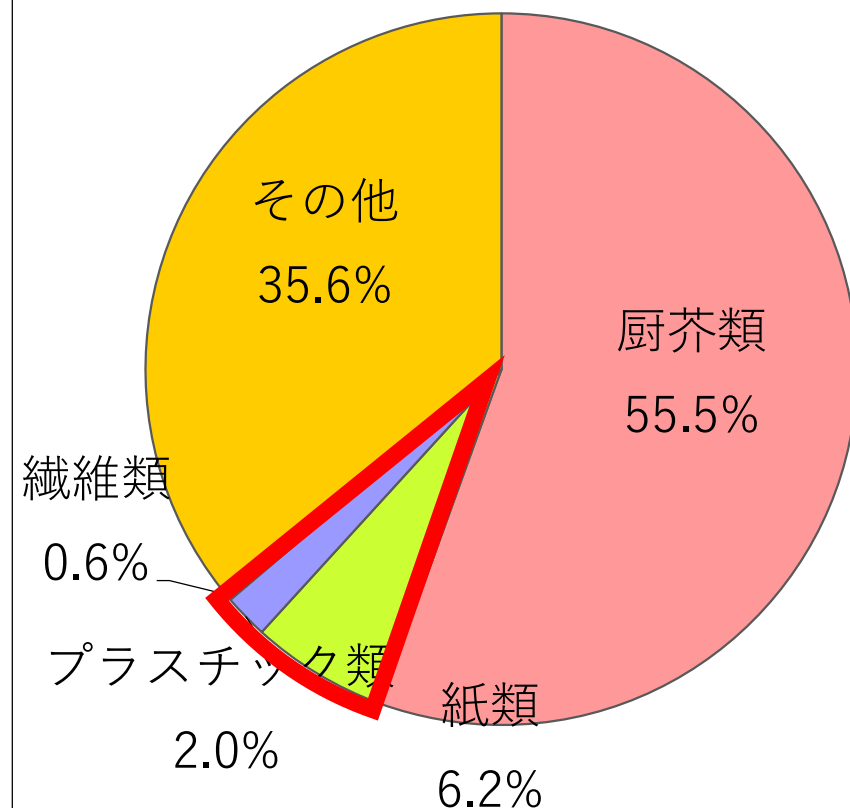
【資源混入割合】

○紙類 6.2%

○プラスチック類 2.0%

8.2%

令和元年度 組成分析結果



2 指定収集袋

《有料化から4年経過》

実施日	令和5年10月21（土）
内 容	約100kg （集合約50kg、戸建約50kg）

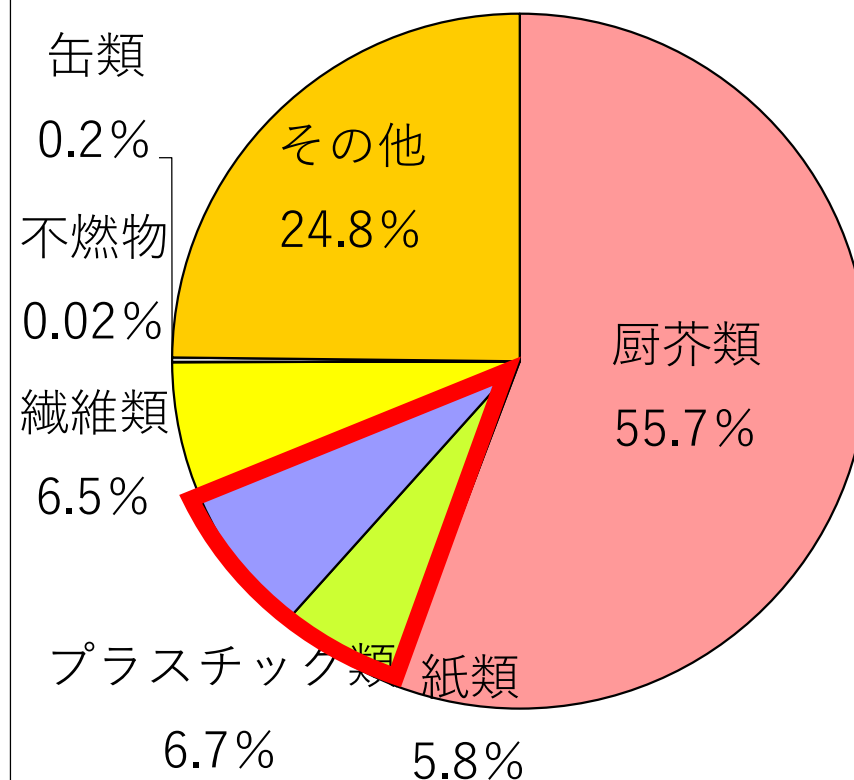
【資源混入割合】

○紙類 5.8%

○プラスチック 6.7%

12.5%

令和5年度 組成分析結果



➡ 有料化直後の組成分析（令和元年10月）と有料化4年経過後（令和5年10月実施）の結果を比較すると、混入割合が多くなっている。

※同じ地区で実施しています。

2 指定収集袋

(1) 手数料

- ごみに対する意識変化により、導入前に比べ可燃ごみが減量している。
なお、人口が増加している中で、総量だけでなく、一人一日あたりの排出量も減量しており、市民の皆様のご協力あつての減量結果である。
- 令和5年度実施の組成分析の結果から、プラスチックの混入割合が多かったため、分別の徹底を啓発する必要がある。
- 一般廃棄物処理基本計画目標値から、現在の排出量を維持する必要がある。
そのため、減量された結果から、手数料の値下げも検討したが、燃やせるごみ量が増加してしまう恐れがある。

案：金額変更しない

2 指定収集袋

(2)-1 サイズ・素材

◆県内他市の指定収集袋販売状況

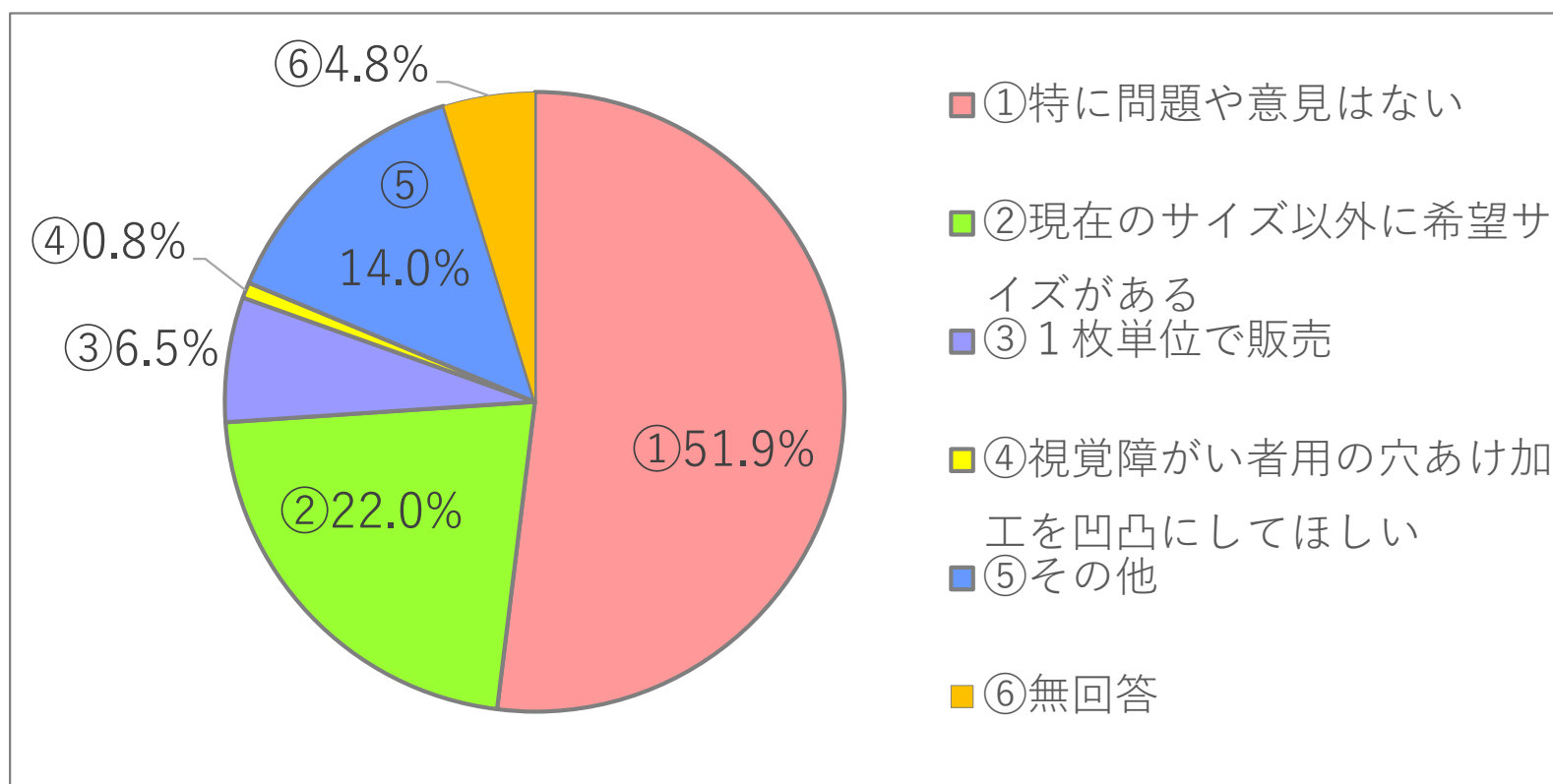
	袋のサイズ（ℓ）	販売枚数	金額
大和市	5, 10, 20, 30, 40	10枚1組	1.6円/ℓ
藤沢市	5, 10, 20, 40	10枚1組 ※40ℓのみ5枚1組	2円/ℓ
鎌倉市	5, 10, 20, 40	10枚1組	2円/ℓ
逗子市	5, 10, 20, 40	10枚1組	2円/ℓ
茅ヶ崎市	5, 10, 20, 40	10枚1組	2円/ℓ

2 指定収集袋

(2)-1 サイズ・素材

◆家庭系ごみ一部有料化・戸別収集導入後アンケート

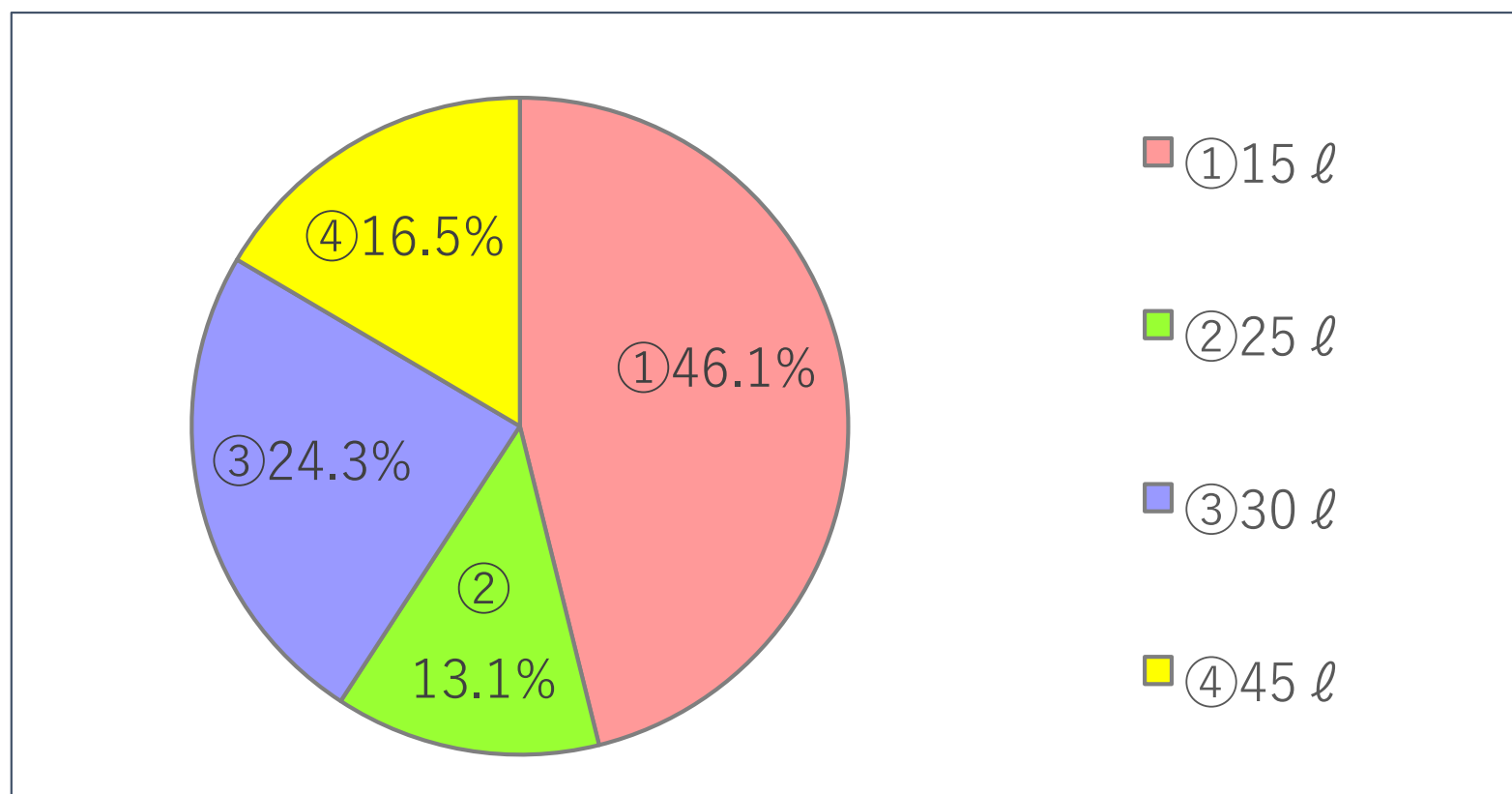
[問]指定収集袋について、あなたの考えをお聞かせください。



➡ 現在のサイズに意見はないと回答した方が半数以上占めている。

2 指定収集袋

[問]現在のサイズ以外で希望がある場合、どのサイズを希望するか。



➡ 約4割の方が15ℓの追加を希望している。他にも、25・30・45ℓを希望している方が約1割ずついる。

2 指定収集袋

◆15ℓ袋を作製する場合（指定収集袋作製業者に聞き取り）
[令和6年度の指定収集袋単価（燃やせるごみのみ）]

▶5・10・20・40ℓの場合

発注予定枚数：6,455,400枚

64,396,695円



約580万円
アップ!

▶5・10・15・20・40ℓの場合

発注予定枚数：6,455,400枚

70,198,935円

2 指定収集袋

◆15ℓ袋を作製する場合（指定収集袋作製業者に聞き取り）
〔令和6年度の指定収集袋単価（燃やせるごみのみ）〕

▶5・10・20・40ℓの場合

発注予定枚数：6,455,400枚

64,396,695円



約560万円
アップ!

▶5・10・20・30・40ℓの場合

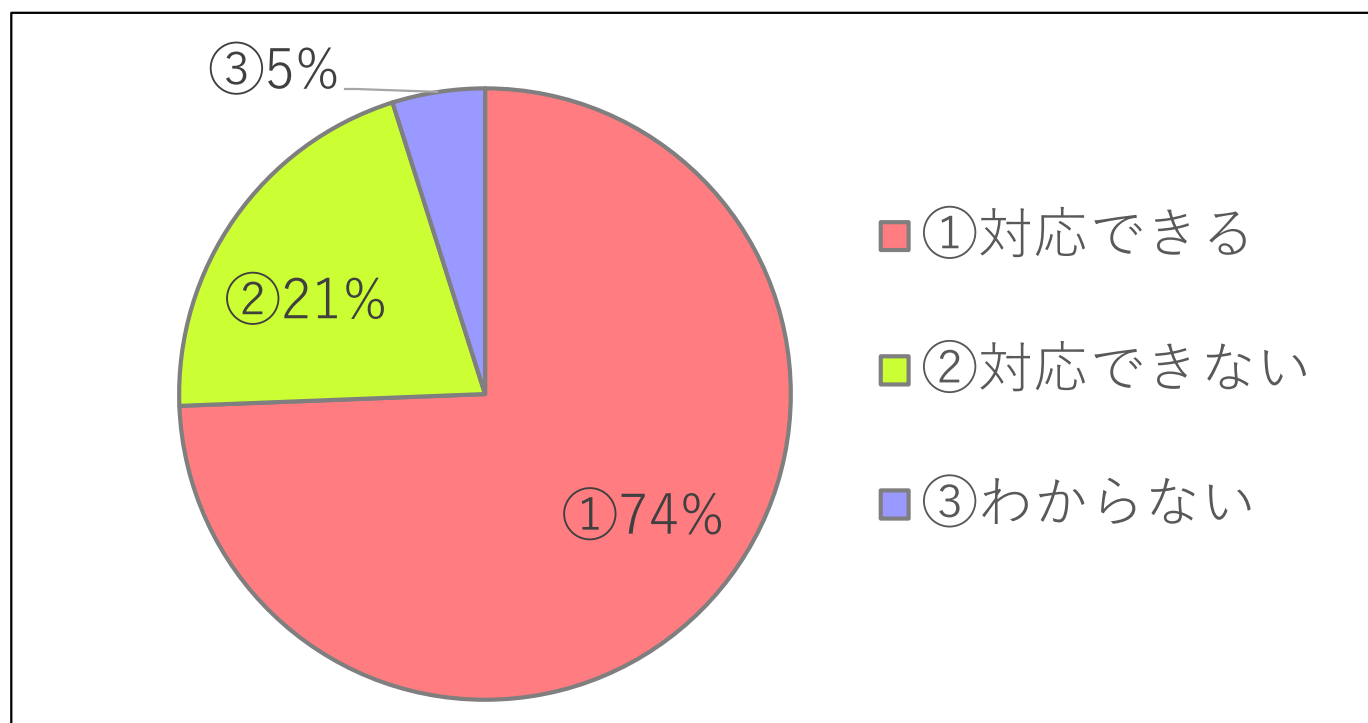
発注予定枚数：6,455,400枚

70,035,966円

2 指定収集袋

[お店側アンケート（令和5年度実施）]

袋のサイズを追加した場合、対応できますか。



➡ 全種類販売するために販売店舗での販売スペースを確保する必要があるが、対応できると回答したお店が約7割であった。

2 指定収集袋

◆指定収集袋の素材について

《外袋》

環境に配慮し、令和5年9月納品分から、内袋と同じ素材にした。

- ・素材…「ポリプロピレン」から「ポリエチレン」へ
- ・厚さ…「0.03mm」から「0.025mm」へ（5ℓ袋除く）

《内袋》

燃焼効率が向上するよう補助剤（フェロキサイド）を加えている。

2 指定収集袋

◆可燃・不燃共通袋について

県内で有料化を導入している5市（大和市・藤沢市・鎌倉市・逗子市・茅ヶ崎市）すべて共通袋を使用している。

海老名市では、可燃と不燃で素材と厚さを変えて作製している。

《メリット》

- ・市民の購入間違いを防ぐことができる。
- ・お店や市の倉庫の管理がしやすくなる。

《デメリット》

- ・収集の際に、可燃か不燃か中身を確認する必要がある。
- ・分別意識の低下

2 指定収集袋

(2)-1 サイズ・素材

- 現時点で袋に対して問題ないと回答した方が半数以上を占めていることと、袋のサイズ変更を希望した方が約20%だった。
- サイズ変更に対して市民要望はあるが、作製のコストと減量効果を考えると、現在のサイズ展開でいいのではないか。

案：指定収集袋のサイズ変更しない。
素材については利用性と作製コストを踏まえて検討する。共通袋についても、現時点では作製しない。

2 指定収集袋

(2)-1 サイズ・素材

- 指定収集袋の素材については、作製コストが大幅に削減できる、より環境配慮できる等のメリットがある場合は変更する。
- 共通袋については、分別意識の低下を考えると現時点では作製しない。

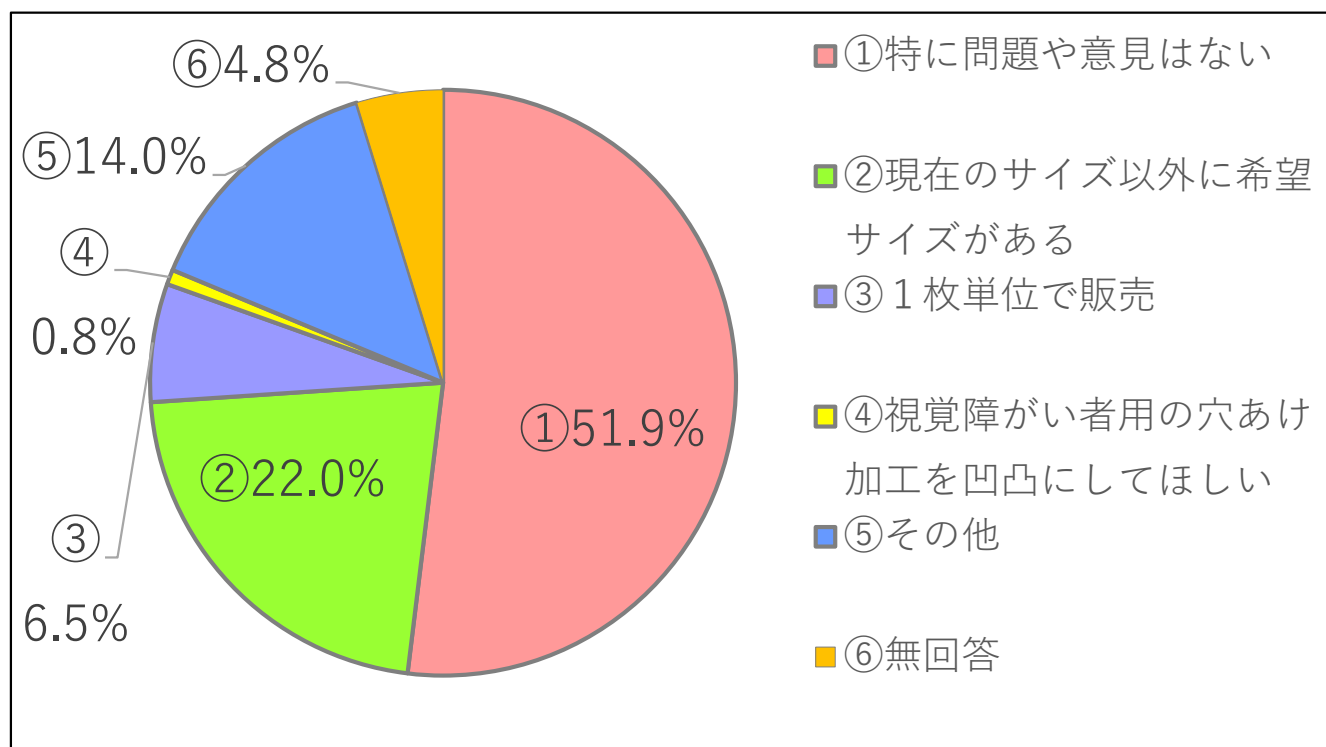
案：指定収集袋のサイズ変更しない。
素材については利用性と作製コストを踏まえて検討する。共通袋についても、現時点では作製しない。

2 指定収集袋

(2)-2 販売方法

◆家庭系ごみ一部有料化・戸別収集導入後アンケート

[問]指定収集袋について、あなたの考えをお聞かせください。

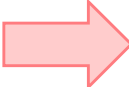


➡ 1枚単位で販売を希望する方が6.5%いる。

2 指定収集袋

[ばら売り]

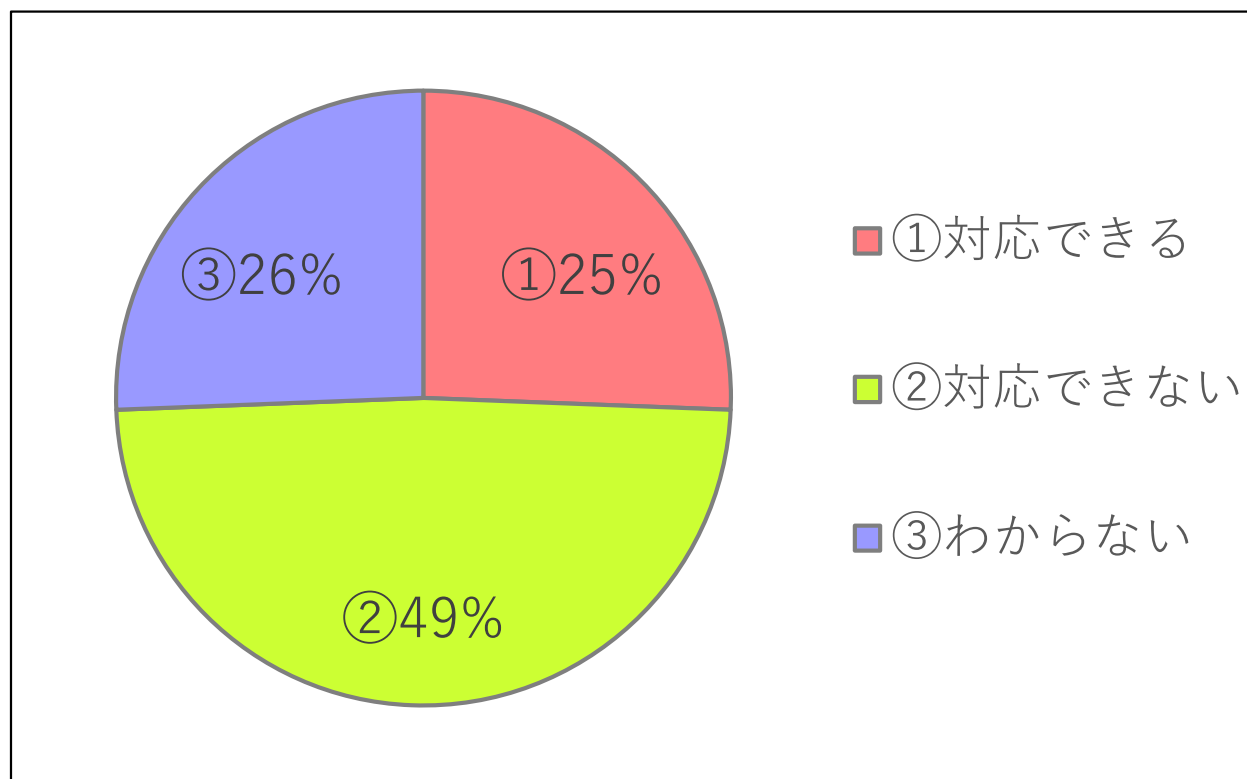
お店側の意見	• 在庫管理、売り場管理が難しい。 • 万引きが増える。 • レジ作業が増える。 • バーコードがない。 (※令和5年度海老名商工会議所実施アンケート結果より)
課題	①お店で販売する際の保管スペースと販売スペースの確保 〈解決策〉レジ袋の代わりに販売してもらう等 ②バーコードなし 〈解決策〉商品登録を行えば問題はない。

 お店側としては、在庫管理等の問題があるため販売が難しいという意見が約5割を占めている。

2 指定収集袋

〔お店側のアンケート（令和5年度実施）〕

ばら売り販売することはできますか。



➡ 対応ができないと回答しているお店が約5割を占めている。

2 指定収集袋

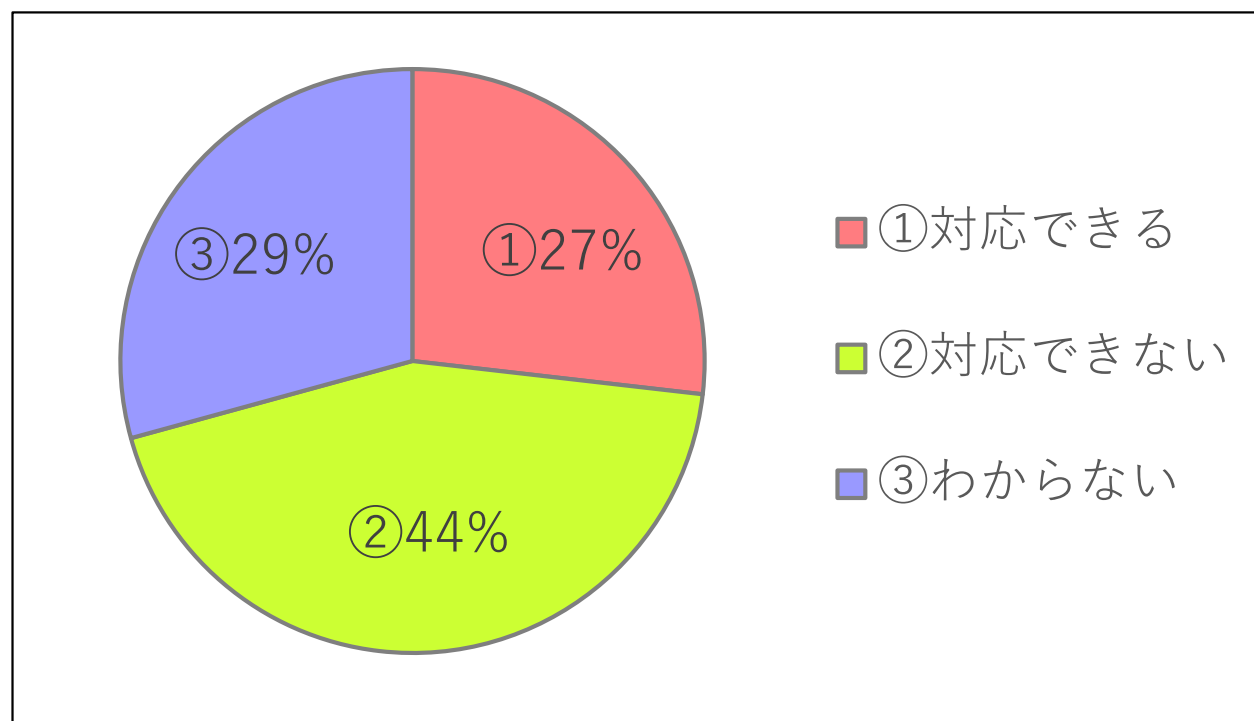
[レジ袋の代わりに指定収集袋]

東京都日野市に現状を確認した。

きっかけ	レジ袋辞退率向上、プラスチック削減
メリット	特定の店舗での利用率が高い
デメリット	特になし
課題	現在実証実験中（令和5年度時点）であるが、今後は店舗を拡大したいと考えているが、店舗が応じてくれない。
その他	• どのようにすればレジ袋を辞退するかの調査を行った結果、通常の指定収集袋とデザインを変えれば辞退するとの意見が多かったため、デザインを変更した。今後も、レジ袋用と通常の指定収集袋用でデザインを分けて販売する予定。 • 以前から、通常の指定収集袋のばら売りはしている。

2 指定収集袋

[お店側のアンケート（令和5年度実施）]
レジ袋の代わりに販売することはできますか。



➡ 会社指定があり対応できない等対応できないと回答したお店が約4割であった。

2 指定収集袋

(2)-2 販売方法

- お店の規模によって、ばら売りに対応できるお店とできないお店があるため、全店舗での対応は難しいと考える。
- 実証実験等を行い、販売スペースやばら売りの取り扱い等、課題を整理する必要がある。
- ばら売り販売ができない場合には、レジ袋の代わりに販売してもらおう等1枚単位で購入できるようにしていきたい。
- レジ袋の代わり販売する場合、現在のデザインから販売用に別で作製する必要がある可能性がある。

案：お店側と慎重に調整し実証実験等をしてから本格的に導入するか検討する。

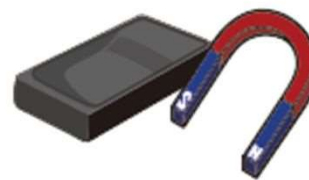
3 有料化品目

(3) 有料化品目の見直し

◆燃やせないごみの品目

現在、有料としている品目は以下のとおり。

品目
陶磁器類
鏡類
ガラス類
硯、砥石、磁石
飲食物以外のびん類



3 有料化品目

〔追加をする場合の品目候補〕

現在、資源物として回収している品目の中で不燃物として処理しているものを候補としてあげる。

	品目	具体例
1	メガネ	老眼鏡、虫眼鏡、ルーペ、双眼鏡、望遠鏡、顕微鏡など
2	浄水器のカートリッジ	蛇口に設置するタイプ、ビルトインタイプ、ポットタイプなど
3	ヘルメット	子ども用自転車ヘルメット、バイクのフルフェイスヘルメットなど
4	車用のチェーン	ゴムに金属がついたタイプ、金属をプラスチックでつないだタイプ
5	コルセット	金属製のコルセット
6	絵の具	油絵具の容器（金属）

3 有料化品目

	品目	具体例
7	時計	掛け時計、腕時計など
8	金属とプラスチックが混在した製品	洗濯ハンガー、かみそり、地球儀など
9	汚れのついた缶類	農薬の缶、殺虫剤の缶、汚れたアルミホイル、汚れた油除けなど

3 有料化品目

◆無料品目（透明・半透明袋に入れる）

現在、無料としている品目は、以下の品目となる。

品目	理由
紙おむつ・尿取りパット	子育て・高齢者支援のため
落ち葉・雑草	人の意図に反して繁殖等する草木は手数料徴収にそぐわない
資源物	資源化促進のため
清掃ごみ	公共の場の美化推進のため

[追加をする場合の品目の候補]

- ・生理用品
減量をしようとしても生理現象のため減量できない。
- ・ペットシート
尿は生理現象であるが、ペットを飼うかの判断は各々の意思で決めることができる。

3 有料化品目

(3) 有料化品目の見直し

- 燃やせないごみの品目追加
不燃物として処理している物のうち品目名だけで伝わるものを追加する。

- ①ヘルメット
- ②車用チェーン
- ③金属製コルセット
- ④油絵具の容器（金属製）
- ⑤時計

案：燃やせないごみ、無料品目の一部拡大

3 有料化品目

(3) 有料化品目の見直し

- 無料品目の追加
減量をしようとしても生理現象のため減量できない。
 - ・ 生理用品
- ペットを飼うかの判断は各々でできるため、ペットシーツはこれまでどおり有料品目のままにする。

案：燃やせないごみ、無料品目の一部拡大